

番号	106	堤防 決潰 めいかん ひ 銘肝碑		
所在地	神崎市神埼町尾崎 岩田地区 天神尾溜池			
災害別	昭和 2 2 年（ 1 9 4 7 ）水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和 4 4 年	
特記事項				



神崎市岩田地区にある天神尾溜池に建つ碑。昭和22年6月21日から降り続く大雨で県内各地に被害が生じ、昭和22年6月25日付の佐賀新聞によれば、24日午前8時頃、岩田地区の二つの堤が決潰。50町歩にわたり氾濫、うち5町歩で土砂埋設、植付不能となった。また、床上浸水11戸、床下浸水20戸、小屋2戸が流失したと報じている。

溜池の中央には決潰したもう一つの溜池の堤の跡らしきものが中州のように残されている。

この碑の表には、「堤防 決潰 めいかん ひ 銘肝碑」と記され、碑の背面には



国土地理院電子国土 Web

「勿忘 昭和廿二年六月廿四日 天災は忘れた頃に来る 岩田區」とのみ刻まれている。

碑は昭和44年の改修工事完了に伴い建てられたとのことで、災害の教訓を肝に銘じて忘れないようとの思いが込められているということである。

